

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前	屋良 さとみ		所 属	医学部医学教育企画室	
	職 名	准教授			
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果
教育・ 学生支援	0.60	①医学教育企画室の専任教員として、学部学生の”医学教育”に関する様々な案件の総とりまとめ的な役割を担う。(CBT, OSCE等含む。) ②学部学生がより良く有意義な学生生活を送れ、また卒業より良い勤務状況を得られるように対処していく。 ③医師国家試験の合格率アップにさらに取り組んでいく。 ④呼吸器内科医として学部学生の系統講義の一部を担当する。 ⑤M2学生前期の「医学外国語講義」を担当する。 ⑥M5学生9人の”指導教員”として6年間生活等の指導・教育にあたる。 ⑦学部学生の”在学中および卒業後の進路”はじめ様々な内容についての指導・相談、意見聴取を行う。		0.60	毎年、新しい懸案事項が新出してくるも、左記の目標はほぼ達成できたものと思われる。但し、医師国家試験の合格率が総合試験導入直後よりはやや低下しているため、安定した合格率を得られるよう、工夫し考慮・検討・実施していく。
研究	0.05	・”医学教育”に関する研究を施行していく。 ・”呼吸器びまん性肺疾患”に関する研究を施行していく。		0.05	・”医学教育”に関する研究のためのデータを蓄積している。 ・呼吸器内科の診療に関わり、”呼吸器びまん性肺疾患”に関する研究のためのデータ蓄積に関与した。
社会貢献	0.05	・より良い医療人を育成・輩出することで、社会貢献していく。 ・内科、呼吸器内科医として、多くの患者さんの診療を行うことで、社会貢献とする。		0.05	4年前からの総合試験の導入によって、結果的に琉球大学医学科の「医師国家試験合格率が以前より上昇」し、また医学科6年間のカリキュラムの改良もあり、多くの良い医師を輩出でき、社会貢献につながっていると思われる。
管理運営	0.10	・医学教育企画室自体を管理運営していく。 ・H29年度に受ける「分野別認証」に向け、委員会委員として、計画、立案、文書作成に取り組んでいく。 ・国(文科省、厚労省等)からの方針を実現していけるよう、学務・教務係の方々と協力して対処していく。 ・”医学教育”に関わる多部署とも連携し、FDその他の企画を立案・実施していく。		0.10	不十分な点もあるが、かなり達成はできたと思われる。H29年12/11の週に受審する「医学教育分野別認証」に向けての準備が、更にこれから本格化するので、尽力したい。
診療	0.20	・内科医・呼吸器内科医(特に専門は”びまん性肺疾患”)として、患者さんの外来・入院診療に携わっていく。		0.20	目標通り、十分遂行出来たと思われる。
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		名嘉地 めぐみ	所 属		医学部 医学教育企画室
			職 名		講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果
教育・ 学生支援	0.50	①国際基準に対応した医学教育カリキュラム改革のために学生・教職員向けのFDを実施する。②文科省補助事業「グローバル&ローカル対応琉大ポリクリ方式」の最終年度であり、診療参加型臨床実習の充実を図り、報告会の実施と報告書を作成する。③診療参加型臨床実習の実質化を図るために学内及び学外病院の臨床実習担当者として定期的に連絡会を実施する。④臨床実習に関して学生や教員から意見の聴取及びアンケート調査を行う。⑤臨床実習中の学生及び留年した学生の進路相談や学業サポートを行う。⑥学外病院(県立中部病院)の臨床実習を支援するために、定期的に訪問し、学生指導を行う。⑦医学部1年次対象のシミュレーション演習の運営や演習の担当を行う。		0.50	①②文科省補助事業「グローバル&ローカル対応琉大ポリクリ方式」の報告会の中で、FDを実施する予定である(H29年2月)。補助事業最終年度であるため、報告書を作成中である。③④臨床実習連絡会(学内・学外)を実施した。担当教員及び指導医の意見を聴取したり、学生には臨床実習アンケートで意見を聴いたりして、次年度の臨床実習改善に反映させた。⑤医学科5年次、6年次の総合試験不合格者及び留年者の学習状況の聞き取りと学習計画の指導を行った。⑥臨床実習支援のため県立中部病院へ巡回指導を行い、指導医の負担軽減に寄与した。⑦アクティブラーニング及び多職種連携の取組として、医学科1年次と保健学科1年次の合同シミュレーション演習を実施、運営した。
研究	0.10	①25年度～H27年度科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究で「潜在性鉄欠乏が血管内皮に及ぼす影響について」というテーマで研究を実施した。成果を学会等で発表する。更なる外部資金獲得を目指す。②医学教育に関する琉球大学の取組を発表する。		0.10	①「潜在性鉄欠乏が血管内皮に及ぼす影響について」というテーマで研究成果報告書を作成した。次年度の日本抗加齢医学会で学会発表予定である。②本学部の臨床実習の取組あるいは留年した学生の学業サポートの成果について、次年度に日本医学教育学会で発表を計画している。
社会貢献	0.10	①地域医療に貢献する医師を育成するために、6年次医学科生の離島クラークシップの継続実施と充実を図る。②産業医として、担当事業所の衛生委員会などに参加し、労働者の健康管理の支援を行う。		0.05	①地域医療に貢献する医療人を育成するために、6年次医学科生(14名)の離島クラークシップを実施し、ポートフォリオ評価も取り入れた。②産業医として、学外団体の安全衛生委員会に参加した。休職中の職員と面談し、復帰支援を行った。
管理運営	0.25	琉球大学医学部が国際基準に対応した分野別認証評価を受けるために、医学教育分野別評価検討委員会、医学教育企画室会議及びカリキュラム委員会に参加し、コンピテンシー作成や自己点検評価作業に関わる。医学科教務委員会で、臨床実習のカリキュラムの改革に関わる。		0.25	医学教育改革のために、医学教育分野別評価検討委員会、教務委員会、カリキュラム委員会と医学教育企画室会議へ参加した。次年度、本学部が国際認証に対応した分野別認証評価を受審するために、本学部のコンピテンシー作成と自己点検評価作業のサポートに関与した。臨床実習プログラムの立案と改革に関わった。
診療	0.05	多忙な学内及び学外医師の診療業務を支援する。		0.10	学内の医師が多忙な場合、代診業務を行い、診療をサポートした。腎臓専門医として、地域病院において腎不全患者の診断、治療、教育を行い、地域医療に従事した。
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。	